

令和 4 年 度
宮崎国際大学 教育学部
指定校推薦

試 験 問 題
【小 論 文】

受 験 番 号
氏 名

教育学部 小論文

「大人になつたらなりたいたいものに『会社員』と答える小学生が目立っている」ことが新聞に取り上げられています。それによると、第一生命保険の「大人になつたらなりたいたいもの」の調査（以前は保育園・幼稚園、小学1～6年生が対象。昨年からは小学3年生以上）では、「男子は野球選手とサッカー選手が1、2位を占める年が大半。女子は、食べ物屋さんやパティシエなど、食べ物に関連した職業が97年以降、トップを維持」していたのが、昨年、「会社員」が男子の1位、女子の4位に初めて入ったとのこと。2位は、男子がユーチューバー、女子が教員。3位は男子がサッカー選手、女子が幼稚園の先生・保育士です。

宮崎県出身の漫画家東村アキコさんは、求められた意見（文章）のなかで、「大切なのは、幼い頃から夢を持つことです。もっと教育現場でその大切さを教えるべきでしょう。」と述べています。東村アキコさんの言う「夢」とはどのようなものをまとめ、あなた自身は「夢」をどのように考えるか、また教育現場で夢や希望を持つことの大切さをどのように教えたか、600字以内で述べてください。

小学生になりたい職業を聞いた調査で、男子の1位が会社員というのは信じられません。「大人向けに用意した答え」で、本音はSNSで語っているような気もしますね。

もしかしたら、コロナ禍で在宅勤務する親を間近に見て「ラクそうだ」と思ったのかもしれませんが、でも、会社員は決して安定した職業ではありません。知り合いの会社員は、会うたびに会社が変わっています。

会社員志向は、職業や肩書で人の価値を決める風潮が最近、強まっていることも影響している気がします。私は漫画家という比較的、自由な職業なだけに、息苦しさを感ずけてしまいます。

漫画家になると決めたのは小学生のとき。純粋に絵を描くのが好きだったからです。調査で漫画家は女子の5位、男子は10位以下ですか？ 3位までには入っていると思っていたので、寂しいですね。

最近の若い世代は、「夢」について尋ねられると、就きたい職業を思い浮かべる人が多い。だから、「東京タラレバ娘 シーズン2」（東村アキコ著）の女性主人公は、「人生でかなえない夢は」と問われ、「やりたい仕事」を連想する、という設定にしました。

でも、よく考えると、おかしい話です。仕事が自分に合っているかは実際、働かないと分からないからです。そして、夢を仕事で実現できる人はほんの一握りです。

私は実際、夢を仕事にしたものの、やめたり挫折したりする人をたくさん見てきました。仕事とは、しょせんお金を稼ぐための手段に過ぎません。人間は夢を持たないとダメですが、仕事とは関係ないものでなくてはならない、と思います。私の夢は、海辺の景色のいいところに一軒家を建てて暮らすこと。不動産情報を入手して、いろいろと考えるだけで幸せです。夢は持つだけでなく、何歳までに達成すると時間を区切って生きるべきです。その点、最近のアラサー女性に、将来の夢も持たず、現状に満足する傾向が強まっていることは気がかり

です。

大切なのは、幼い頃から夢を持つことです。もっと教育現場でその大切さを教えるべきでしょう。夢を持つためにはまず自分の心の声を聞く。これまでの経験を思いだしたり、映画やドラマを見て刺激を受けたりするのもいいでしょう。周りの大人のダメだという否定の声には耳を傾けないことも大事です。

(2021年7月1日 朝日新聞 聞き手 笠井政基)